

グリーンチェーン戦略の概要について

■グリーンチェーン戦略の出発（平成18年度より開始）

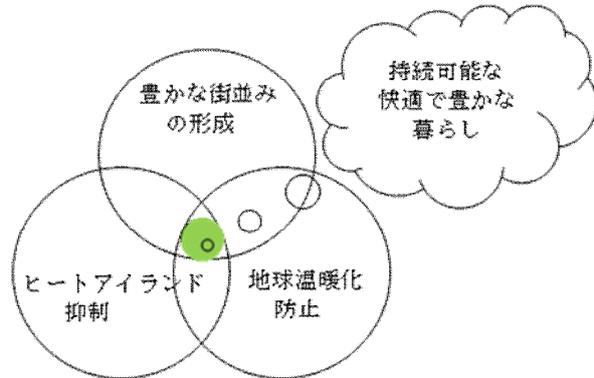
TX沿線開発と同時にみどりを回復
→緑の価値創造により街の価値の向上

★緑の持つ力の利用

熱の制御と体感温度の応用
森の冷気を街に取り入れる

※キーワードは

『都心から一番近い森のまち』

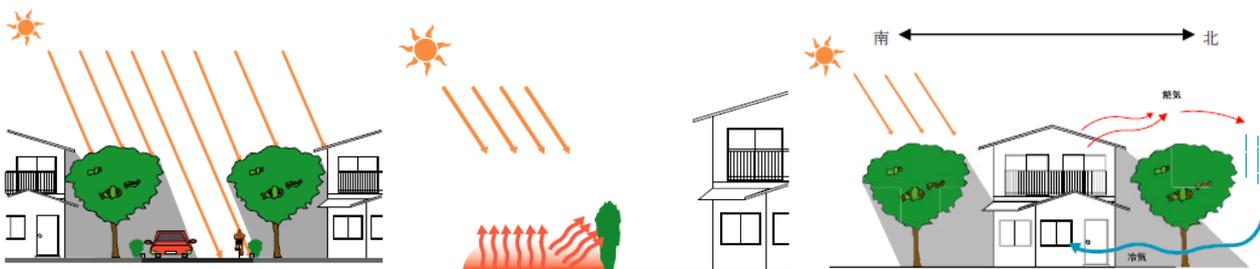


■グリーンチェーン戦略の指標化（7つの要点）：この指標をもとに認定基準を作成

- ①道路表面の温度上昇抑制：接道部高木の植栽
- ②敷地間通風の確保：通風を妨げない敷地境界
- ③道路面からの放射熱侵入抑制：接道部の植栽帯
- ④地表面・外壁の温度上昇抑制：敷地内の緑化
- ⑤排熱とCO2排出の抑制：省エネ型循環機器
- ⑥住戸断熱性能の確保：断熱性能
- ⑦住戸内通風の確保：居間における2方向開口

(イメージ図)

- ①道路からの温度上昇抑制 ③放射熱侵入抑制 ④地表面・外壁の温度上昇抑制



■認定基準について

グリーンチェーン認定基準 一覧表		戸建 (単独)	戸建 (街区)	集合住宅	商業・業務・その他の施設			
					商業施設 オフィスビル 工場、病院 福祉施設など	学校	屋外娯楽施設 屋外運動施設 廃棄物処理場	
接道緑化率	敷地面積	150m ² 未満	0.6	0.6	0.6		0.5	
		150m ² 以上500m ² 未満	0.7	0.7	0.7	0.6	0.7	
		500m ² 以上1,000m ² 未満						
		1,000m ² 以上3,000m ² 未満						
		3,000m ² 以上10,000m ² 未満	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	
		10,000m ² 以上30,000m ² 未満						
	30,000m ² 以上						0.8	
レベル1	接道部緑陰(接道高木本数)		接道距離÷8		接道距離×接道緑化率÷8			
	接道緑化(植栽帯の距離)		接道距離×接道緑化率 ※平均高さ40cm以上					
	敷地内緑化(緑化面積)		敷地面積×(1-法定建ぺい率)×20%					
	その他の要件		敷地間通風	敷地間通風 緑の管理協定	植栽樹木タイプの基準(20m ² 当たりの高木・中木・低木本数)			
レベル2の要件(+α)		接道緑化:平均高さ1m以上 敷地内緑化:敷地面積×(1-法定建ぺい率)×30%						
レベル3の要件(+α)		省エネ型設備機器			-			
		住戸断熱性能(次世代省エネ基準)			-			
		住戸内通風			認定はレベル2まで			